

# 平成30年度実績に係る部局評価書

部局名: 太陽エネルギー化学研究センター

【評価区分1】 部局評価計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
A	A	A

## 【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		昨年度を上回る外部資金を獲得してプロジェクト研究を遂行し、水と酸素から過酸化水素を世界最高効率で合成できる光触媒を開発したことや、可視光を効率よく利用できるプラズモン光触媒のナノ構造の設計指針を新たに示したこと、また、変動する太陽エネルギーを吸収する次世代二次電池としてその実用化が期待されているリチウム空気電池の容量を決定付ける因子を明らかにしたことが評価できる。
【社会貢献】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
		代替エネルギー原子力庁サクレ研究所(フランス)やカルガリー大学(カナダ)との人的交流を含む国際共同研究を実施したこと、また、インド工科大学ハイデラバード校からJSPS研究員を迎え、共同研究を実施したことが評価できる。
【業務運営】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。

## 【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p><b>【評価コメント】</b>            常勤教員一人当たりの科学研究費補助金の獲得について、積極的に取り組むことで実績を非常に大きく伸ばすとともに高い水準に達し、大学実績に大きく寄与していることが高く評価できる。            また、常勤教員一人当たりの競争的資金(科研費以外)の採択金額についても、実績を大きく伸ばしていることが評価できる。</p>
---